



前列左から岡本、木村、三戸さん、  
後列は機械電気工学科生

# 徳山高専の 3人が市長賞

●周南<sup>徳山</sup>●  
12日・ピーえつちどおりで点灯式  
★まちなあかりデザインコンテスト

周南市のピーえつちどおりを彩るLED（発光ダイオード）イルミネーションのアイデアを募集した「まちなあかりデザインコンテスト」で、徳山高専土木建築工学科五年の木村未希さん（20）、三戸翔子さん（20）、岡本千春さん（19）の「Snow Smile」が最優秀の市長賞を受賞した。作品は二十三日まで通りでもとされ、十二日午後五時半から点灯式が開かれる。

周南市のピーえつちどおりを彩るLED（発光ダイオード）イルミネーションのアイデアを募集した「まちなあかりデザインコンテスト」で、徳山高専土木建築工学科五年の木村未希さん（20）、三戸翔子さん（20）、岡本千春さん（19）の「Snow Smile」が最優秀の市長賞を受賞した。作品は二十三日まで通りでもとされ、十二日午後五時半から点灯式が開かれる。

デザインプロジェクトの主任で、レンガのタイルや多彩な街路樹、彫刻があるピーえつち通りを飾ろうと初めて公募した。八件の応募があり、一級建築士の石丸和広さん、サマンサジャパンの小野英輔会長、デザイナーの三分一幸治さん、平野千博徳山高専校長、P会（平野千博）の代表がアイデアを描いたポスターを審査した。高校生の部優秀賞は徳山商工高総合ビジネス科二年、沖美幸さんと情報ビジネス科二年の大和雅さんが受賞した。

「Snow Smile」は街路樹や彫刻、ベンチ、ショーウィンドーにおもちゃや人形、ケーキの模型などの入った高さ十センチのアクリルの箱のイルミネーションを飾り、さわるとLEDがアクリル板の箱内を照らしてプレゼントが現れるもの。木村さんは「見るだけでなくさわって楽しめるものがないと思った」と言う。

今回は予算の都合で新町駐車場向かいの電話ボックス横にあるサルスベ  
りとその周辺だけが、五十個を街路樹に下げた。ベンチに置く。機械電気工学科五年の広瀬大さん（20）や岡寄雄平さん（20）らが技術面で協力し、箱のふたの裏に小さな基板と電池ボックスとともにLEDを取り付け、離れた場所にある親機からあかりを制御し、触れると振動に反応してLEDの色が変わるセンサーもつけた。